

## 第6章 生涯学習プランの推進

### 1 推進体制

「生涯学習プラン」に掲げる生涯学習施策を推進するためには、教育部門だけではなく、福祉、保健、医療、子ども、環境、産業振興など、様々な分野の計画・事業実施所管と連携し、学習、啓発、市民協働の取組を行っていく必要があります。

市内においては「八王子市生涯学習推進会議」を設置し、全庁的な体制のもとに「生涯学習プラン」に掲げる生涯学習施策を推進し、本市における生涯学習社会「学びのまち八王子」の実現を目指します。

また、市民委員や学識経験者で構成する「八王子市生涯学習審議会」を開催し、生涯学習の振興に関する施策の審議、生涯学習に関する施策及び事業の検証と評価を行います。

### 2 進行管理

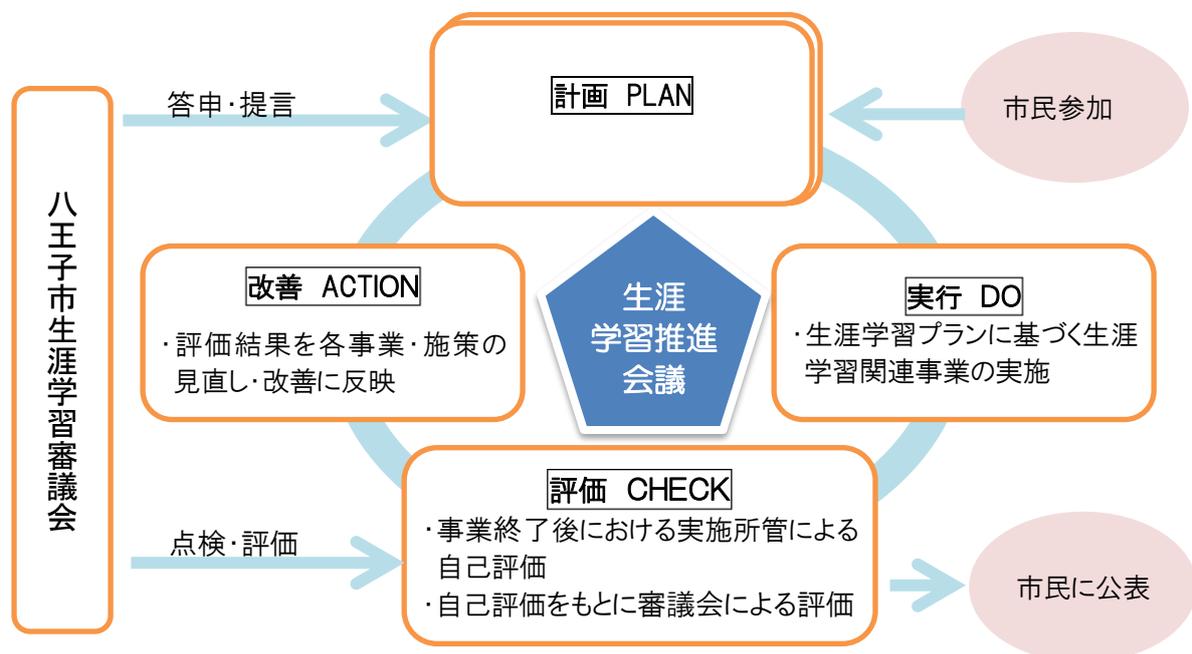
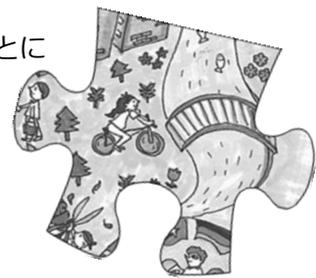
「生涯学習プラン」を実効性のあるものにしていくためには、施策の取組状況を定期的に検証し、必要に応じて見直し、改善する仕組みづくりが必要です。

そこで、「生涯学習プラン」に係る施策の取組については、年度ごとに

- (1) 生涯学習プランに基づく生涯学習関連事業の実施
- (2) 事業終了後における実施所管ごとの自己評価
- (3) 自己評価をもとに、八王子市生涯学習審議会における評価
- (4) 事業実施所管による評価結果の各事業への反映

というPDCAサイクルのもと進行します。

また、急速に変化する社会情勢・市民ニーズの変化、国や都の動向に対応しながら、必要に応じて事業の実施内容を見直します。



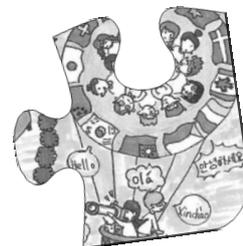
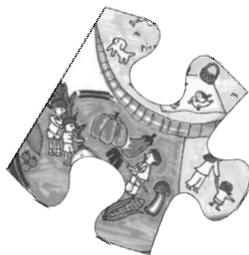
### 3 進捗状況をはかる指標

「生涯学習プラン」の推進にあたり、基本施策ごとに次のとおり指標を設定します。この指標を目安として施策の進捗状況をはかります。

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～		
●指標1 生涯学習活動をしている市民の割合	平成30年度（2018年度） 現状値：52.2%	目標：毎年度、 前年度を上回る
○生涯学習の充実度をはかる指標です。より多くの市民が具体的な生涯学習活動を行っていることを目標とします。		
基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～		
●指標2 生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合	平成30年度（2018年度） 現状値：8.9%	目標：毎年度、 前年度を上回る
○生涯学習の成果を地域への還元度をはかる指標です。より多くの市民が、学びの成果をまちづくりの中で活かし、地域や社会の中で活動することを目指します。		
基本施策3 学びを支える基盤づくり		
●指標3 SNSを活用した講座・イベント情報を発信し、フェイスブック等の閲覧数	平成30年度（2018年度） 現状値：22,362件	目標：毎年度、 前年度を上回る
○生涯学習情報が市民に提供されている状況をはかる指標です。情報発信数とともに閲覧数の増加を目指し、市民の生涯学習活動参加を促します。		

【参考指標】生涯学習に関連した計画における生涯学習関連施策に係る指標

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～		
●若者が対象となる生涯学習講座の数 【八王子市子ども・若者育成支援計画】	平成30年度（2018年度） 現状値：10講座	令和6年度（2024年度） 目標値：30講座
●市民一人あたりの図書館資料の貸出数 【第4次読書のまち八王子推進計画】	平成30年度（2018年度） 現状値：4.4点	市の人口に占める利用登録者の過去5年間の平均割合を維持しつつ、市民一人あたりの貸出数を増やす。
●18歳以上の週1回以上のスポーツ実施率 【八王子市スポーツ推進計画】	平成30年度（2018年度） 現状値：63.4%	令和6年度（2024年度） 目標値：67%
●1年間のうちに伝統行事に参加したことがある市民の割合 【八王子ビジョン2022】	平成30年度（2018年度） 現状値：50.3%	令和6年度（2024年度） 目標値：50%以上
基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～		
●放課後子ども教室の延べ参加者数 【第3次八王子市教育振興基本計画】	平成30年度（2018年度） 現状値：766,471人	令和6年度（2024年度） 目標値：955,920人
●1年間にスポーツを支える活動を行った市民の割合 【八王子市スポーツ推進計画】	平成30年度（2018年度） 現状値：12.8%	令和6年度（2024年度） 目標値：15%
基本施策3 学びを支える基盤づくり		
●図書館の実利用者率 【第4次読書のまち八王子推進計画】	平成30年度（2018年度） 現状値：10.6%	市の人口に占める利用登録者の過去5年間の平均割合を維持しつつ、図書館の実利用者率を高める。
●文化財関連施設（郷土資料館・八王子城跡ガイダンス施設・絹の道資料館）の利用者数 【八王子ビジョン2022】	平成30年度（2018年度） 現状値：87,233人	令和6年度（2024年度） 目標値：10万人以上



## 〈コラム〉

### ミライへ歩む若者への応援 ～「ビジョン すくすく てくてく はちおうじ」から～

八王子市の人口は平成27年（2015年）に初めて減少に転じ、出生数や子どもや若者の数も減少が続いています。

一方で、子どもや若者を取り巻く環境は複雑化し、様々な問題が生じています。社会が目まぐるしく変化する中、悩みを抱え、孤立してしまう若者も少なくないようです。

今後、全ての子ども・若者が社会的自立に向けて自分らしく歩いていくためには、年齢や分野を問わず切れ目なく支援していくことが求められています。

また、子ども・若者がそれぞれの「今」を充実させていけるよう、様々な体験や活動機会を創出していくなど、社会全体でその活躍を応援することが大切です。

こうした状況を踏まえ、本市では、八王子市子ども・若者育成支援計画「ビジョン すくすく てくてく はちおうじ」を策定し、この計画の推進によって「子ども・若者が夢と希望を持ってあるけるまち」の実現を目指します。

生涯学習プランでは、同計画を互いに関連する計画として位置付け、若者の社会的自立に向け、生涯学習活動を通じて地域社会全体で若者を応援・支援しようと、施策の展開 07「高校生・大学生等、若者が活躍できる機会の充実」の中に、施策 022「若者の自立に向けた、学びによる支援」を設け、連携して若者を応援・支援する施策を進めます。

ボランティア活動・文化活動・社会参加・社会貢献活動などへの参加を促すなど、若者施策として掲げている取組は、生涯学習活動と重なり合うところも多く、若者の生涯学習活動への参加のきっかけとなるとともに、生涯学習活動が若者にとって自立のきっかけとなればと考えます。

